

平成27年3月12日(木)

## 座布団で手作り 防災ずきん講座

豊橋

「3・11を忘れない集い」が十一日、豊橋市のさくらピアであり、参加者四十人が防災ずきんを作り、日ごろの備えの大切さを学んだ  
|| 写真。



ずきんは、百円ショップの座布団二枚を縫

い合わせ、職場や車中、家庭で普段から気軽に使うことができる。災害時は、避難所で足を高く保つクッションや枕にもなる。

講師は、市民団体「豊橋防災ボランティアコーディネートナーターの会」の尾崎公枝副会長ら。ジーンズを使った担架

や、遮光カーテンで作る着替えテントなど、不用品を再利用した防災グッズ五十点以上を考案し、各地で紹介している。尾崎さんは「普段の生活の中に防災があることが大事。手作りすることで楽しみながら意識を高めてほしい」と話した。